

令和7年度 大場地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

青葉区の高齢化率の増加に伴い、地域包括支援センターには認知症の相談や介護予防・社会参加の相談が増えている。在宅での家族介護はギリギリまで抱え込んでいるケースもあり、相談に来られる時は状況がかなり深刻になっていることもある。介護する側の子世代に相談窓口として地域ケアプラザが知られていないことも多く、周知活動は今後も引き続き取り組んでいく。

認知症に関する取り組みは、今年度もチームオレンジに参画して、地域に向け認知症の普及啓発を基本に取り組みを展開していく。介護予防事業については、移動手段に困難を抱えている住民のために各自治会町内会やマンション集会所などの身近な場所で開催し、参加しやすい環境を作り参加を促す。引き続き、ケアプラザが遠く、来館が困難な住民も参加できる出張サロンを開催し集いの場作りに努める。地域ケア会議等を活用して課題解決に向けた取り組みを検討しつつ、新規自主事業の開催や、区や関係機関と連携し情報を共有していく。

新規
継続

—具体的な取組内容—

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	各専門職が老人会や地域活動への参加、出張講座等を通して、地域との関係作りを行いながら課題やニーズの把握を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	引き続き6職種会議や区とのカンファレンスの場で集めた情報を分析し課題解決に向けた取り組みを検討する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域支援者や関係機関との意見交換を重ねた中からあがってきた「発達障がい・グレーゾーン療育支援」「障がい児養育支援」などの地域課題に対し自主事業を新規で開催したが、参加者の実績が上がらず課題が残った。引き続き、「社会的障壁」を無くしていくため、自主事業を通じて地域と共に理解を深め、共生社会の実現を図っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	サロン・集いの場を地域ケアプラザ以外で開催する等工夫し、住民が正しく認知症について理解できるよう普及啓発を行う。また、チームオレンジのモデル実施として、引き続き「やさしい街あざみ野実行委員会」への参加を継続し、キャラバンメイトとも連携ができるように支援する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6職種会議で個別の情報を共有しながら地域ケア会議を開催し、地域住民や専門職等の多職種で個別の課題を共有し検討する。個別を積み重ねながら地域の課題として包括レベル会議を検討する。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント

令和7年度大場地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	ケアプラザは公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向けた業務運営にあたります。サービス選定等においては、選択肢を提示する等、相談者、施設利用者の意思を尊重し適切な対応を行います。	法人の規程、取組みに則り職員が連携してお客様の安全確保、情報管理に努めます。定期的な研修、会議への参加、ヒヤリハットの活用、他機関、事業所での事故事例などを通して情報の共有、注意喚起と事故防止に努めます。実際の個人情報取り扱いについては、チェックリスト等を活用し、複数の人員によるダブルチェックを徹底します。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で自分らしく自立した生活が継続できるよう支援します。	要介護状態になった方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援してまいります。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 なし	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】 なし
職員体制	(管理者) 保健師等1名 主任介護支援専門員1名 社会福祉士2名 プランナー2名	管理者(主任介護支援専門員) 1名(兼務) 介護支援専門員 3名事務職員 2名
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	地域の方々から信頼されるケアプラザを目指します。	地域の方々から信頼されるケアプラザを目指します。	
実施体制	【実施日数】 308 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 35人	【実施日数】 308 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 12人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 要支援1:19,274円 要支援2:38,817円 要介護1:7,053円 要介護2:8,329円 要介護3:9,648円 要介護4:10,966円 要介護5:12,306円 【実費】食費(おやつ含む):750円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】 要介護1:10,814円 要介護2:11,989円 要介護3:13,164円 要介護4:14,350円 要介護5:15,525円 【実費】食費(おやつ含む):750円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者:1名 生活相談員:4名 看護師:6名 機能訓練指導員:6名	管理者:1名 生活相談員:4名 看護師:6名 機能訓練指導員:6名	
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「大場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,833,753	0	18,833,753	0	18,833,753	横浜市より
内 受領額	18,833,753		18,833,753		18,833,753	
内 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	235,320		235,320		235,320	
雑入	71,302	0	71,302	0	71,302	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料	71,302		71,302		71,302	
内 その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	19,140,375	0	19,140,375	0	19,140,375	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,017,002	0	9,017,002	0	9,017,002	本部経費含まれない
内 本俸	6,979,110		6,979,110		6,979,110	
内 社会保険料	811,562		811,562		811,562	
内 手当計	1,030,376		1,030,376		1,030,376	
内 健康診断費	36,642		36,642		36,642	ハマフレンド
内 勤労者福祉共済掛金	159,312		159,312		159,312	
内 退職給付引当金繰入額			0		0	
内 その他			0		0	
事務費	1,940,363	0	1,940,363	0	1,940,363	本部経費含まれない
内 旅費	12,000		12,000		12,000	旅費交通費
内 消耗品費	235,000		235,000		235,000	事務消耗品、衛生用品
内 会議随い費	42,000		42,000		42,000	運営協議会
内 印刷製本費	87,500		87,500		87,500	複合機カウンター料
内 通信費	453,473		453,473		453,473	郵便代、電話料金、運送費、ネットワーク通信費
内 使用料及び賃借料	62,959	0	62,959	0	62,959	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
内 内 その他	62,959		62,959		62,959	AED、節水コマ
内 備品購入費			0		0	
内 図書購入費			0		0	
内 施設賠償責任保険	19,090		19,090		19,090	
内 職員等研修費	10,000		10,000		10,000	研修受講料
内 振込手数料	20,790		20,790		20,790	為替手数料、振込手数料
内 リース料	234,422		234,422		234,422	会計ソフト使用料、ADサーバー賃借料、PC、車両
内 手数料	16,500		16,500		16,500	EBサービス手数料、
内 地域協力費	7,500		7,500		7,500	社協年会費、諸会費
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
内 その他	739,129		739,129		739,129	ガソリン代、施設以外の修繕、広報費、システム経費、産業医、給与計算、自動車保険、業務災害保険
事業費	400,000	0	400,000	0	400,000	本部経費含まれない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000		100,000	
内 その他	300,000		300,000		300,000	諸謝金
管理費	6,887,006	0	6,887,006	0	6,887,006	本部経費含まれない
内 光熱水費	3,874,808		3,874,808		3,874,808	
内 清掃費	2,074,035		2,074,035		2,074,035	
内 機械整備費	124,823		124,823		124,823	
内 設備保全費	813,340	0	813,340	0	813,340	
内 空調衛生設備保守	569,368		569,368		569,368	
内 消防設備保守			0		0	
内 電気設備保守	72,266		72,266		72,266	
内 害虫駆除清掃保守			0		0	
内 駐車場設備保全費			0		0	
内 その他保全費	171,706		171,706		171,706	産廃、植栽
内 共益費			0		0	
内 その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
内			0		0	
支出合計	18,718,371	0	18,718,371	0	18,718,371	
差引	422,004	0	422,004	0	422,004	

自主事業費 収入	235,320	0	235,320	0	235,320
自主事業費 支出	100,000	0	100,000	0	100,000
自主事業 収支	135,320	0	135,320	0	135,320

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	71,302	0	71,302	0	71,302	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	71,302	0	71,302	0	71,302	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和7年度「大場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)						
収入の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	31,661,084	0	31,661,084	0	31,661,084	横浜市より
内 受領額	31,661,084		31,661,084		31,661,084	
内 戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,150,623	0	6,150,623	0	6,150,623	横浜市より
内 受領額	6,150,623		6,150,623		6,150,623	
内 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	32,000	0	32,000	0	32,000	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
内 その他	32,000		32,000		32,000	
その他			0		0	
収入合計	38,027,707	0	38,027,707	0	38,027,707	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,832,738	0	31,832,738	0	31,832,738	本部経費含まれない
内 本俸	22,233,841		22,233,841		22,233,841	
内 社会保険料	4,112,342		4,112,342		4,112,342	
内 手当計	4,702,250		4,702,250		4,702,250	
内 健康診断費	33,368		33,368		33,368	ハマフレンド
内 勤労者福祉共済掛金	750,937		750,937		750,937	
内 退職給付引当金繰入額			0		0	
内 その他			0		0	
事務費	1,697,367	0	1,697,367	0	1,697,367	本部経費含まれない
内 旅費	24,000		24,000		24,000	旅費交通費
内 消耗品費	126,880		126,880		126,880	事務消耗品、衛生用品
内 会議随い費			0		0	運営協議会
内 印刷製本費	97,500		97,500		97,500	複合機カウンター料
内 通信費	325,656		325,656		325,656	郵便代、電話料金、運送費、ネットワーク通信
内 使用料及び賃借料	41,254	0	41,254	0	41,254	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
内 戻 入 その他	41,254		41,254		41,254	AED、節水コマ
内 備品購入費			0		0	
内 図書購入費			0		0	
内 施設賠償責任保険	19,090		19,090		19,090	
内 職員等研修費	50,000		50,000		50,000	研修受講料
内 振込手数料	20,790		20,790		20,790	為替手数料、振込手数料
内 リース料	380,576		380,576		380,576	会計ソフト使用料、ADサーバー賃借料、PC、車両
内 手数料	16,500		16,500		16,500	EBサービス手数料、
内 地域協力費	27,500		27,500		27,500	社協年会費、諸会費
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
内 その他	567,621		567,621		567,621	ガソリン代、施設以外の修繕、システム経費、産業医、給与計算、自動車保険、業務災害保険
事業費	874,000	0	874,000	0	874,000	本部経費含まれない
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	10,000		10,000		10,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		50,000		50,000	
内 その他			0		0	
管理費	1,830,720	0	1,830,720	0	1,830,720	本部経費含まれない
内 光熱水費	1,030,012		1,030,012		1,030,012	
内 清掃費	551,325		551,325		551,325	
内 機械警備費	33,180		33,180		33,180	
内 設備保全費	216,203	0	216,203	0	216,203	
内 空調衛生設備保守	151,351		151,351		151,351	
内 消防設備保守			0		0	
内 電気設備保守	19,209		19,209		19,209	
内 害虫駆除清掃保守			0		0	
内 駐車場設備保全費			0		0	
内 その他保全費	45,643		45,643		45,643	
内 共益費			0		0	
内 その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	本部経費含まれない
支出合計	36,360,825	0	36,360,825	0	36,360,825	
差引	1,666,882	0	1,666,882	0	1,666,882	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	244,000	0	244,000	0	244,000
自主事業 収支	△ 244,000	0	△ 244,000	0	△ 244,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 大場地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：大場地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,181		5,181	7,379		7,379	23,177		23,177	55,429		55,429	2,084		2,084	28,769		28,769
	その他	0	0	0	0	0	0	1,028	0	1,028	11,092	0	11,092	296	0	296	4,793	0	4,793
	事業・負担金収入			0			0			0	6,096		6,096	232		232	3,200		3,200
	認定調査委託料			0			0	297		297			0			0			0
	原案作成委託料			0			0	731		731			0			0			0
	利用料			0			0			0	4,980		4,980			0	1,565		1,565
				0			0			0			0			0			0
	その他			0			0			0	16		16	64		64	28		28
	収入合計(A)	5,181	0	5,181	7,379	0	7,379	24,205	0	24,205	66,521	0	66,521	2,380	0	2,380	33,562	0	33,562
支出	人件費			0	1,318		1,318	18,860		18,860	56,010		56,010			0	25,296		25,296
	事務費			0	193		193	1,670		1,670	7,338		7,338			0	2,505		2,505
	事業費			0			0	7		7	5,141		5,141			0	1,701		1,701
	管理費			0			0			0	5,226		5,226			0	1,631		1,631
	その他	0	0	0	8,450	0	8,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	8,450		8,450			0			0			0			0
				0			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	9,961	0	9,961	20,537	0	20,537	73,715	0	73,715	0	0	0	31,133	0	31,133
収支 (A)－(B)		5,181	0	5,181	-2,582	0	-2,582	3,668	0	3,668	-7,194	0	-7,194	2,380	0	2,380	2,429	0	2,429

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
1	包括カンファレンス	H18	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーのスキルアップ。ケアマネジャー同士の横の繋がり。の場。	6:事業者	5	地域のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供等を行う。民生委員や医療との連携の場を設ける。隔月開催。	0	0	0	0
2	おおばの輪	R5	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医療と介護の多職種連携の場。お互いの役割の理解や連携、ネットワーク構築。	6:事業者	5,6	年間2回 ケアプラザ協力医との連携の場でもあり、地域の薬局薬剤師、栄養士、ケアマネジャー、サービス事業所等との情報や意見交換	0	0	0	0
3	サロンde大場	R6	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	相談に繋がりにくいあざみ野4丁目エリアの声を聴くための出張サロン。	5:地域		山内北部の民生委員や区の保健師と共に地域の声や悩みをお聴きする。 場所:スタジオカフェBALENA 8・1月を除く毎月第4金曜15～16時	0	0	0	0
4	あおばイキキキ!元気塾	H23	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の方々にいつまでも元気でいきいきと生活していただき、介護予防に関する知識を広く普及啓発することを図る。ハマトレの効果、継続して行うことの大切さを伝えることができる。できれば、講座終了後、参加メンバーが自主的にサロン活動を実施できることを目標とする。	1:高齢者	1	ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防、ハマトレ、ポジティブエイジング、認知症予防など。5～6月全4回開催予定。	0	0	0	0
5	はつらつ体力チェック、結果説明会	H22	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	①地域の高齢者が客観的なデータに基づき自身の体力を知り、その後の体力づくり、健康づくりの意欲を高め継続することで健康寿命延伸を目指す。 ②健康づくりが継続できるような家でもできる運動を知ることや、地域の様々な介護予防講座への参加に繋げる。 ③はつらつ体力チェックサポーターが改めて体力チェック実施の目的やサポーターとしての役割を知り、スキルアップの機会とする。	1:高齢者	1	握力や長座体前屈などの項目がある体力測定会。日本体育大学共催。6月、12月頃開催予定。 サポーターの活躍の場として、地域の集いの場に出張して体力チェックを適宜開催。	0	0	0	0
6	図書館でハマトレ	R5	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ハマトレキャストとなった地域住民が活躍できる場づくりを支援する。ハマトレを普及し介護予防や健康づくりにつなげる。来年度の自主グループ化を目標とする。	1:高齢者	5	毎月2回	0	0	0	0
7	あおばイキキキ!元気塾	H23	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の方々にいつまでも元気でいきいきと生活していただき、介護予防に関する知識を広く普及啓発することを図る。地域で介護予防活動に資する活動の担い手の発掘も目標とする。	1:高齢者	1	ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防、ハマトレ、ポジティブエイジングなど。9月に全4回開催予定。	0	0	0	0
8	体力チェックサポーター養成講座	H29	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	大場地域ケアプラザで毎年2回実施している体力測定や出張体力チェック等のサポーターを養成する。	5:地域	5	全2回実施(4月5月)。・体力測定会事業目的、現役体力チェックサポーターの活動紹介 介護予防 測定項目と測定方法説明演習他	0	0	0	0
9	介護者の集い	H18	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	家族を介護している方、家族を介護した経験のある方を対象に介護に関する話題について勉強する。また介護者同士が意見交換することにより、介護の現場で役立つ情報を相互に得る事ができる。	5:地域		毎月1回(第4水曜日)開催	0	0	0	0
10	大場地域ケアプラザのあんしん講座(仮題)	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	将来への備えについて学ぶことで、今後の人生を不安なく、より長く生きていける地域住民が増える。	5:地域		全3回で各回テーマを決めて開催する。	0	0	0	0
11	さくらんぼひろば	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の子育て中の養育者と未就園児が互いに交流ができる ②養育者の地域での仲間づくり ③ボランティアを含めた世代間交流	3:養育者及び乳幼児	3,4	毎月第1火曜日 多目的ホールでの遊び場 不定期でイベント開催				
12	とっぴんぱらり	H20	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ②地域の親子の交流の促進	3:養育者及び乳幼児	3,4	語り手たちの会:菅野智子氏によるわらべうたで親子のコミュニケーションと子育て支援。わらべうた以外にもおはなし、絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行なう。 毎月第4火曜日				
13	リトミックであそぼう!	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①子育て世代の交流の場 ②親子の居場所	3:養育者及び乳幼児	3,4	エリアにお住いのリトミック講師の指導によりリトミックを楽しむ、子育て世代の交流の場。 毎月第2・4木曜①10:00～10:40 ②10:50～11:30				
14	気になる子どもの相談室「にこる一む」	R6	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①発達障がいやグレーゾーンの種類や特徴を知ること、地域の子供達への理解を深める。 ②対象児童への対応や地域で育てる環境づくりのヒントを探る。	2:障害児・者	3, 4, 5, 6	地域の養育アドバイザーを講師に迎え、発達のお悩みを抱える養育者向けにおうちでできる療育を推奨することで、専門機関に達えなくても療育が出来るという前向きな子育てを応援する。				
15	銀のつどい	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ボランティア活動の活性化 ②地域の高齢者の閉じこもり防止	1:高齢者	1,5	65歳以上の方対象のミニデイサービス 毎月第1～4金曜日実施 一般開放のイベントもあり。				
16	キッズフアワーアレンジメント	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ケアプラザとなじみの薄い就園児または小学生にケアプラザに来館してもらうきっかけづくり ②参加者がお互いの作品を見ながら会話することで、学年を超えて交流できる	4:子ども・青少年	4	小学校中学年から中学生までを対象 母の日と父の日、バレンタインデー前に開催				
17	かやのき土曜コンサート	H19	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の音楽家に地域活動に関心をもってもらうきっかけを作る ②地域の方がケアプラザに来館するきっかけづくり ③閉じこもりの防止	5:地域	5	不定期で土曜か日曜に開催 地域の音楽活動家と地域をつなぐ意味も込めて継続中。				
18	面白科学で工作	H22	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①小学生やその養育者にケアプラザを知ってもらうきっかけづくり ②世代間交流の促進	4:子ども・青少年	4	7月または8月の夏休み期間に開催。 子供たちの夏休みの自由研究の一環として支援している。				

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）				4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
19	みんなの学習室	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①小学生やその養育者にケアプラザを知ってもらきっかけ作り。 ②多世代交流の促進。	4:子ども・青少年	4,6,7	大場CPI 勉強お助け隊」からスタートした事業。長期休暇(夏休み、冬休み等)中の余暇活動として、青少年の地域活動拠点『あおばコミュニティ・テラス』を中心に区内賛同CPIにおいて、多世代交流を兼ねた学習支援。				
20	かやのき祭り	H15	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	① 地域ケアプラザの地域へのPR ② 世代間交流の促進 ③ 地域活動団体を知ってもらう機会とする	5:地域	1,5	年1回、11月第3日曜日に開催。地域の方と共同して、ケアプラザを周知し、地域の様々な活動もアピールする。				
21	座 ぶんとん人形劇	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 世代間の理解の促進 ② 子育て中の方が外出し、リフレッシュできる	3:養育者及び乳幼児	3,4,5,7	年1回開催。子供と養育者が一緒に楽しめる場の提供を軸に継続している。				
22	WITH クリスマス会	H26	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の常設の子育てひろばのPRと地域ケアプラザが子育て中の方が利用できる施設であることの周知 ② 地域の子育て中の方のリフレッシュ ③同世代の子を持つ保護者同士が知り合うきっかけ作り	3:養育者及び乳幼児	3,4,6	年1回、12月に開催。子育て広場とコラボレーションして、地域の方々と様々な接点をもつ貴重な機会となっている。				
23	ボランティア交流会	H21	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	・大場地域ケアプラザで活動して下さっているボランティアの皆さまとの勉強会と交流会。	5:地域	1,5	年1回開催。大場地域ケアプラザで活動して下さっているボランティアの皆さまとの勉強会と交流会。				
24	幼児安全法	H27	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・食べ物詰まらせてしまった時の対処法や、急な意識消失の際の対応等、子育て中の親子の学びの講座。	3:養育者及び乳幼児	3,6	年1回開催 子育てひろばWITHと赤十字との共催により行う子育て中の親子の学びの講座				